

TU

Teikyo university
Utsunomiya campus.

No.10

帝京大学 宇都宮キャンパス

TU No.10

発行月 2015年10月 発行 帝京大学宇都宮キャンパス 〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1 TEL. 028-627-7111 (代) FAX. 028-627-7184 E-mail. somu@riko.teikyo-u.ac.jp
URL: <http://www.riko.teikyo-u.ac.jp/> ご意見・ご要望をお待ちしております。郵送またはFAX、E-mailにてお寄せください。 ©帝京大学 2015 禁 無断転載

帝京大学 宇都宮キャンパス

見つけて磨こう！ 自分流の原石を

経済学部

地域経済学科

理工学部

機械・精密システム工学科

航空宇宙工学科

情報電子工学科

バイオサイエンス学科

医療技術学部

柔道整復学科

50th
TEIKYO UNIVERSITY
歴史をしのぐ未来へ

平成28年度 入試のご案内

【経済学部 地域経済学科・理工学部 全学科・医療技術学部 柔道整復学科】

入試についての
詳しい情報は

帝京大学入試情報サイト

帝京大学 入試 検索 よりご覧ください

入試区分	時期区分	出願期間 ※締切日必着	選考試験日 【試験日自由選択制】	合格発表日	試験場 【試験場自由選択制】
AO入試 ※ヘリパイロットコースは、一次選考 合格者のみ二次選考があります	I期	2015年9月24日(木) ～10月6日(火)	10月10日(土) 10月11日(日)	10月15日(木)	板橋試験場・八王子試験場 宇都宮試験場・博多試験場 大牟田試験場
	II期	2015年11月17日(火) ～12月8日(火)	12月12日(土) 12月13日(日)	12月16日(水)	
推薦入試 ※ヘリパイロットコースは実施しません	公募制	2015年11月4日(水) ～11月10日(火)	11月14日(土) 11月15日(日)	11月18日(水)	板橋試験場・八王子試験場・宇都宮 試験場・博多試験場・大牟田試験場
	指定 校制	I期 2015年11月4日(水) ～11月10日(火)	11月14日(土)	11月18日(水)	板橋試験場・宇都宮試験場
		II期 2015年11月17日(火) ～12月8日(火)	12月12日(土)	12月16日(水)	板橋試験場
一般入試 ※ヘリパイロットコースは、一次選考 合格者のみ二次選考があります	I期	2016年1月4日(月) ～1月21日(木)	1月28日(木) 1月29日(金) 1月30日(土)	2月4日(木)	板橋試験場・八王子試験場・宇都宮 試験場・博多試験場・大牟田試験場 ——1月28日、2月19日のみ—— 札幌試験場・仙台試験場 水戸試験場・高崎試験場 新潟試験場・金沢試験場 長野試験場・静岡試験場 名古屋試験場・大阪試験場 岡山試験場
	II期	2016年2月1日(月) ～2月13日(土)	2月19日(金) 2月20日(土) 2月21日(日)	2月26日(金)	
	III期	2016年2月17日(水) ～3月1日(火)	3月5日(土) 3月6日(日)	3月9日(水)	板橋試験場・八王子試験場・宇都宮 試験場・博多試験場・大牟田試験場
	前期	2016年1月4日(月) ～1月15日(金)	大学入試 センター試験	2月6日(土)	——二次選考会場—— 板橋試験場・宇都宮試験場
大学入試センター試験利用入試 ※理工学部と柔道整復学科は、一次選考 合格者のみ二次選考があります ※柔道整復学科は前期のみとなります	後期	2016年2月17日(水) ～3月1日(火)	大学入試 センター試験	3月9日(水)	

【お問い合わせ先】 帝京大学入試センター ☎ 0120-335933

【受付時間】
平日 8:30～17:00 / 土曜日 8:30～12:30

帝京大学
建学の精神

努力をすべての基とし偏見を排し 幅広い知識を身につけ 国際的視野に立って判断ができ
実学を通して創造力および人間味豊かな 専門性ある人材の養成を目的とする

教育理念

「自分流」とは、生き方の哲学そのもので、自分のなすべきこと、興味あることを見つけだし、自分の生まれ持った個性を最大限生かすべく
知識や技術を習得し、それを自分の力として行動する。そしてその結果については自分自身が責任をもつことである。本学はこの自分流の
生き方を学生に身につけてもらうべく、サポートしている。

Produce / FLEX DESIGN POWERS Co., Ltd. Direction & Write / Yuka Kato Design / Takashi Kimura Illustration / Yuka Kobayashi Photo / Masashi Fukutomi Publisher / Teikyo University Utsunomiya Campus

特集：地域経済学科

Let's Go! Fieldwork

「TU」は、帝京大学 宇都宮キャンパスでの学生生活やニュースなど、情報満載の広報誌です。「Teikyo」「Utsunomiya」の頭文字を取って名付けました。



- 01 地域経済学科特集
- 03 フィールドワークに行こう!
- 09 帝京宇都宮まちづくり研究会って?
- 10 こんな資格も取れます
- 11 TU Voice
- 13 宇都宮キャンパスNEWS



cover photo
地域経済学科
4年 橋本 賢太さん(左)
栃木県立大田原高校出身
3年 田口 小春さん(右)
栃木県立さくら清修高校出身

帝京大学 宇都宮キャンパスって?

帝京大学には、板橋・八王子・宇都宮・福岡・霞ヶ関の5つのキャンパスがあります。宇都宮キャンパスは、理工学部の全学科、経済学部／地域経済学科、医療技術学部／柔道整復学科を有する、東京ドーム6個分の緑豊かな広い敷地に各学科が機能的にレイアウトされた美しいキャンパスです。

経済学部

- ・地域経済学科

理工学部

- ・機械・精密システム工学科 ・航空宇宙工学科 ・情報電子工学科
- ・バイオサイエンス学科 ・情報科学科 (通信教育課程)

医療技術学部

- ・柔道整復学科

大学院

- ・理工学研究科 総合理工学専攻
情報科学専攻 (通信教育課程)
- ・医療技術学研究科 柔道整復学専攻



特集：地域経済学科

時代は、 GLOBAL! Global + Local

日本の人口は大都市に集中し、地方では過疎化や少子高齢化、産業の衰退など、問題を抱えた市町村がどんどん増えてしまっています。

そんな地域を元気にするためのキーワードは、「グローバル」。つまり、グローバルな視点をもって、自分の地域で活躍するということ。地域経済学科の学生たちは、そんな知識と実践力を身につけるため、今日も元気に各地を飛び回っています!



Field work

栃木県那珂川町

担当教員：金子先生

自分たちの町に
自信を持ってもらいたい！

栃木県の北東部に位置する、那珂川町。アコ釣りや有名な那珂川と里山に囲まれた自然豊かな町で、優れた観光資源が多く存在するにも関わらず、知名度が低く、人口もどんどん減少している現状があります。そこで金子ゼミでは、那珂川町の魅力を学生の目で発掘し、町の産業振興やイメーリアップにつなげるための動画制作に取り組みことに。外部に向けて町をPRするためだけではなく、町民の方々に、「この町にはこんな資源がある、これをまちづくりに活かせる」と自信を持ってもらうことも大きなねらいです。

町の魅力がギュッと詰まった
動画を作るために

実際に町を歩き回ったり、地域の方とお話をする中で、町の現状や課題をリサーチ。学生たちは、那珂川町の魅力を伝えるために動画づくりのための3つのテーマを考えました。

1つ目が、「那珂川の恵み」。那珂川町の由来になった那珂川では、伝統的なアユの築やな漁が行われています。アユやウナギなどを加工して関東一円に販売する川魚店を取り、川を町の資源としてもっと活用する方法を考えます。

2つ目が、「エコのまちづくり」。町をあげて取り組んでいる、自然エネルギーやリサイクル施設などの環境産業でのまちづくり。民間有志が自力で会社を立ちあげ、環境施設を巡るツアーを検討している様子を紹介します。

3つ目が、「絵本美術館と自然」。那珂川町にある、「いわむらかずお絵本の丘美術館」の醸し出す芸術的な雰囲気や、町民の創造性を生む原動力になるのではないかと、いうテーマです。実際に、芸術的な雰囲気に誘われて那珂川町への移住者も増えているようです。

以上の3チームに分かれ、シナリオ作りからインタビュー、撮影、編集まで、すべて学生たちの手で行いました。伝えたい結論を導くにはどんな映像が必要か。メンバーで話し合い、撮影場所やインタビュー対象者を選定。8月に本撮影を行いました。1チーム5時間以上のビデオを5分に編集するのは大変な作業で、泣く泣く捨てた映像も多いようです。

担当の金子先生は、「カメラを通して町を見ると、今まで気が付かなかったものが見えてきます。まちづくり、あるいは地域資源の発掘で学生らしい発見が出てくることに、那珂川町も期待してくれています」と話してくれました。



学生たちが制作した動画は、YouTubeにアップしています。
<https://www.youtube.com/user/teikyomate>



天然アユやウナギなどを加工販売する川魚店の店主にお話を聞きました。



広大な敷地で
ソーラーパネルを
バックに撮影中！

町の方々の協力を得て、テーマ選びやシナリオ作り、
撮影、編集まで、学生たちの手で行いました！



絵本作家のいわむらかずおさん
ご本人にもインタビューをさせていただきました。

いわむらかずお絵本の丘美術館での取材・撮影の様子。

キャンパスだけが教室じゃない。 さあ、フィールドワークへ出発だ！

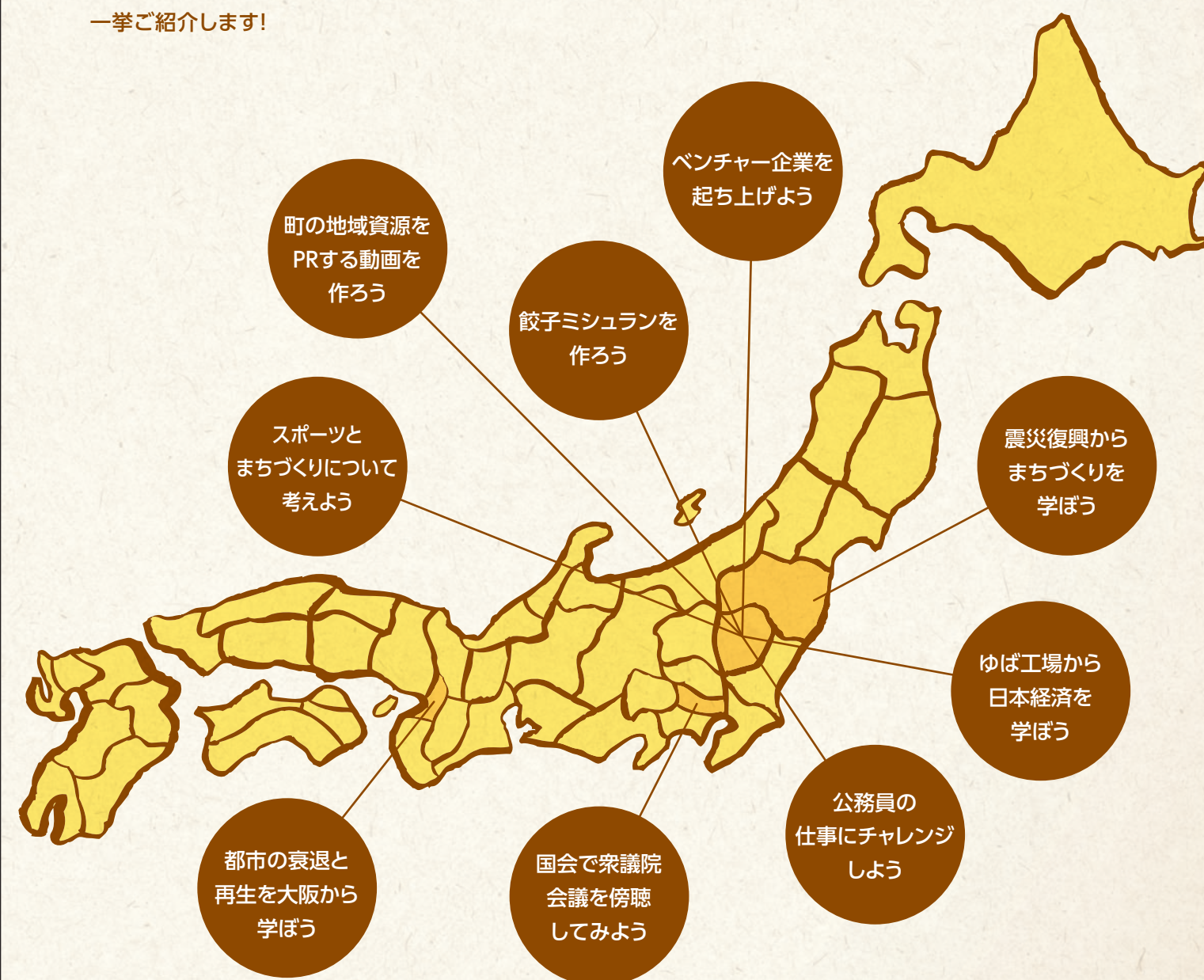
Let's Go!
Fieldwork

地域経済学科は、経済学的手法をベースに、地域を元気にする力を身につける学科。

だから、経済学の知識を身につけることはもちろん、
対象となる地域をしっかりと知ることがとても重要です。

そのために行うのが、実際に現地を訪れ、自分たちの目で観察したり、
聞き取り調査などを行う「フィールドワーク」。

フィールドワークにより、その地域の特徴をあらゆる角度から調査するスキルが
身についた時にはじめて、地域を元気にするための課題やポイントが見えてくるのです。
そこで今回は、地域経済学科の学生たちが実際に行っている様々なフィールドワークを、
一挙ご紹介します！



※地域経済学科では、講義の他に、教員1名+少人数の学生による「ゼミ」と呼ばれる授業が行われています。
ゼミごとに特定のテーマに沿って研究や発表を行うため、フィールドワークもゼミ単位で実施されています。

Field work

栃木県宇都宮市

担当教員：山田先生

スポーツとまちづくりについて考えよう

3つのプロスポーツが存在する街

宇都宮市には、サッカーの「栃木SC」、バスケットボールの「リンク栃木ブレックス」、自転車ロードレースの「宇都宮ブリッツェン」という、宇都宮市を本拠地とする3つのプロスポーツチームがあります。山田ゼミでは、それらのスポーツチームを宇都宮市のまちづくりのように入り取り入れていくばいかに、その可能性を探ることをテーマに活動しています。現状や課題を明らかにしたうえで、プロスポーツを「観る」「応援する」、または自らスポーツを「すること」で、若者が暮らしたくなるような市にするための方法を見つけ出すことが目標です。

まずは各スポーツチームについての理解を深めるために、発足から現在までの過程、クラブ運営の現状と特徴、問題点、地域とのかわりなどについて調査しました。その後、各チームの関係者や行政の方々（宇都宮市観光課、宇都宮市教育委員会など）に直接お会いし、ヒアリングを実施。また、夏休みを利用して栃木SCのホーム試合開催日に来場者にアンケートを行ったり、同じく地域に複数のプロスポーツチームが存在する静岡県浜松市を訪れ、そこでの各チームや行政の取り組みを調査しました。

子どもから大人までスポーツを楽しむには？

これまでの調査によると、3つのチームいずれも各地のイベントに参加したり、スポーツ教室を開催するなど、地域貢献活動を積極的に行っているようです。そのかきもあつて、各チームに対する宇都宮市民の理解や知名度は高いのですが、それが実際にスポーツを「観る」「する」という行動までにはなかなかつながっていないということがわかりました。また、プロスポーツチームの試合観戦は40〜50代が中心で、若年層の割合が低いという傾向も見られました。

これらの調査結果から、現在山田ゼミでは、子どもから大人まで持続してチームのファンになってもらい、実際に見る「する」という行動につなげてもらうためにはどうしたらいいか、その具体的な方法についての考察の真つ最中。11月に行われる、宇都宮市主催の「まちづくり提案でプレゼンを行う予定」です。

担当教員の山田先生は、フィールドワークを通して、地域の特徴や問題を明らかにしながら、よりよい地域になるためにはどうすればいいか。そのために自分は何ができるかを考え、実行に移すようになってもらえれば最高です」と話してくれました。



宇都宮市の観光課にて。市役所と各チームの連携についてお聞きしました。

様々な立場の方にお話を聞き スポーツでみんなが元気になる 方法を模索します！



アグレミーナ浜松（プロフットサルクラブ）の本部にて。学生たちも熱心に質問していました。



栃木SCのホーム試合で、ファンの方にアンケートを行いました。炎天下の中、汗だくになりながら約150名の方にご回答をいただくことができました。

Field work

栃木県茂木町 他

担当教員：内貴先生

公務員の仕事にチャレンジしよう

公務員って、 どんな仕事をしているの？

地域を元気にするための方法を学ぶ地域経済学科では、将来は地方公務員など、地域に貢献する仕事に就きたいと考えている学生たちが多くいます。でも、具体的な仕事内容までは、あまりイメージできていないのが実情。そこで内貴ゼミでは、地域を再生・活性化するために活動している様々な職務の実態を調査し、意見交換を行うフィールドワークを行うことになりました。

自分の目で見て、肌で感じ 生きる姿勢を学ぶ

内貴ゼミではこれまで、左記の5か所を訪問しました。

1 か所目は、「読売新聞社宇都宮支局」。支局長に「統一地方選挙堂々からみる地方自治のお話を聞いたり、新聞記事はどのように取材され、選択され、記事として発信されるのか、社会は何を求めていると新聞社は考えているのか、などについて教えていただきました。

2 か所目は、「宇都宮市消防局」。119番通報を受けて迅速に対応する消防指令システムや、消防車・救急車の緊急出動の様子を見学。人々の命を救うための日頃の訓練や、彼らの使命感の大きさを知りました。

3 か所目は、「自治医科大学」。恵まれな

い地域に必要な医療を供給しようとする人々の思いを知りました。

4 か所目は、地方自治の第一線である自治体として注目される「茂木町」。教育・福祉・環境・農業などの政策がどのように立案され実施されているのか、指導者としての町長はどういう人なのかなど、町長自らお話しいただきました。

5 か所目は、「栃木県警」。街を守る警察官の仕事と彼らの思いを学びました。

さらに今後は、「宇都宮市役所」を訪問して都市行政を学び、「足利銀行」を訪問して民間事業がいかに地域振興に寄与しているか、具体的な民間プロジェクトとそれを支える金融を学部予定。

担当教員の内貴先生は、「ふるさとで自らの職務に情熱をかけ、地道に使命を果たそうとしている人々に接することにより、自らの将来の生き方を真剣に考える基礎にしてほしい」と話してくれました。参加した学生たちは、実際の職場を初めて見て、普段では知ることのできなかつた様々な事業やそれに携わる人々の思いを肌で感じて、感動し、新たな興味を持ち、前向きに生きる姿勢を学んでいるようです。



茂木町を訪問した時の様子。茂木町長の古口達也氏（写真前列右）に、いろいろなお話をとても気さくにさせていただきました。



栃木県警訪問の様子。白バイを間近に、学生たちは興奮気味だったようです。

地域で自らの職務に情熱をかけて 地道に使命を果たす人々にお会いしてきました！



宇都宮市消防局で見学した、消防指令システムの様子。119番通報があると、ここから各消防署に指令が出されます。

おきた

Field work

大阪府大阪市

担当教員：松尾先生

都市の衰退と再生を 大阪から学ぼう



道頓堀や通天閣など、大阪の繁華街を中心に調査しました。

早くから産業化が進み日本の近代化をリードした大阪の人口はピーク時から50万人も減少しました。こうした衰退に対して、現在の大阪はどのように取り組んでいるのか？例えば、水路や長屋など、衰退過程の中で「古い」「邪魔」と見なされるのではなく、継承・再発見・再構築して逆に「資産」「資産」「再生のシンボル」へと転化させていった事例に注目し、フィールドワークを行いました。



黒崎先生率いる、黒崎ゼミのメンバーたち。本物の起業家が、ここから誕生するかも！

Field work

栃木県日光市

担当教員：山室先生

ゆば工場から 日本経済を学ぼう



ゆば工場見学の様子。この後、出来たてのゆばを試食させていただきました！

栃木県が日本の中でどのような経済的な役割を果たしているかを学ぶため、山室ゼミでは日光市の名産品でもある「ゆば」の工場見学を行いました。見学だけではなく、工場で生産される商品の国内動向や製造方法の変遷、原料の仕入先と製品の納入先、そこに工場がある理由、工場用地の来歴、栃木県内にある他の工業団地なども調査。山室先生は、「学生たちには、実際に目で見て、実体験で経済知識を身につけてほしい」と話してくれました。



国会議事堂内の、衆議委員第1委員会室にて。委員長席に座り、ドキドキ！

Field work

栃木県宇都宮市

担当教員：五艘先生

餃子ミシュランを 作ろう

宇都宮餃子ミシュラン

地元の学生たちが、数ある宇都宮餃子店を評価します。宇都宮と餃子に関するあれこれもお伝えします！



餃子ミシュランWEBサイト。学生たちが更新しています。

宇都宮は餃子の街として知られていますが、どの店がおいしいのか、ネット上にも情報は少なめ。そこで五艘ゼミでは、餃子店を巡って実際に食べて、★1から★5までで評価し、ブログ『宇都宮餃子ミシュラン』で発信しています。宇都宮と餃子に関わる細かい話も発信中。ページビューもどんどん伸びています！



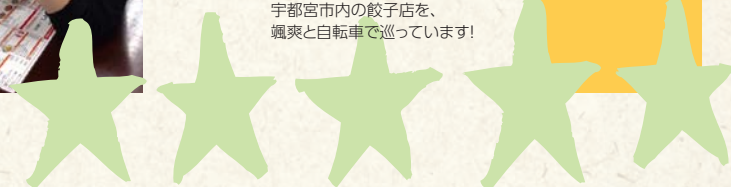
宇都宮餃子ミシュラン
<http://utsunomiyagyzoa.blogspot.jp>



公正な評価をするため、食べる時も真剣。メニューもくまなく調査します。



宇都宮市内の餃子店を、颯爽と自転車で巡っています！



Field work

東京都千代田区

担当教員：夜久先生

国会で衆議院会議を 傍聴してみよう

東日本大震災から4年。多大な被害があった地域の復旧・復興から地域づくりの原点を学ぶため、山川ゼミのメンバーは、夏休みの3日間、福島県南相馬市へ。市役所で除染や復興などの進捗状況をお聞きしたり、津波の被災地を視察したり、仮設住宅で生活する方のお話をお聞きするなどの現地調査を行い、被災地の実態認識を深めました。



前列中央が、南相馬市の桜井市長。

Field work

福島県南相馬市

担当教員：山川先生

震災復興から まちづくりを学ぼう



写真上／南相馬市小高区の津波被災家屋。緊急時避難準備区域に指定されていますが、住宅再建が始まっています。
写真下／南相馬市鹿島区の寺内塚仮設住宅集会所での仮設生活者との懇談の様子。

Field work

番外編

担当教員：黒崎先生

ベンチャー企業を 起ち上げよう

フィールドワーク以外にも、おもしろいゼミがあります。黒崎ゼミでは、学生たちが自分たちのプランで、ベンチャー企業を立ち上げて運営するシミュレーションを行っています。ベンチャー企業には社会性や国際性などが求められるため、単純に儲かる会社を創ればよいというわけではありません。企業の目的、事業内容、収益性などをシミュレーションし、起業のための資金調達から始まり、最終的には上場することを目的としています。

VENTURE

「これから
「教職」について
考えよう！」



元中高教員の草川先生が
教えてくれます



写真は教育課程論の授業。
学生が4人グループで資料を音読み、
探究しています。

地域経済学科で学ぶ経済学、経済史、法
学などの専門科目を活かして教職課程
を履修すると、中学校・高等学校の教師
の道が拓けます。「子どもは未来の代
名詞」。一度就職して社会人としての経
験を活かして教師になる人もいます。
栃木県を始め、北関東の地域で中学社
会科、高等学校公民科・地理歴史科の教
員に挑戦してみませんか？

教員免許

- ・高等学校教諭一種免許状(公民)
- ・高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
- ・中学校教諭一種免許状(社会)

「学芸員」とは、博物館で働く専門的職員のこと。この
資格を取るための最後の課題である「博物館実習」の
ために、博物館経営と展示品の保存などについて視野
を広めるために指導をします。



実習では、博物館のバックヤ
ードを見学することもできます。



歴史学を専門とする
山室先生が教えてくれます

浅井先生自身が作成している
オリジナルテキスト。導入テキ
ストとしてわかりやすいと、学
生たちにも大好評です。



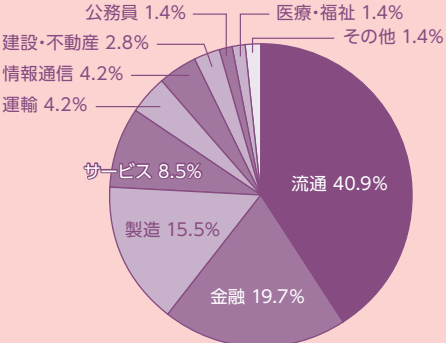
「簿記」とは簡単に言うと「お金やものの出入りを記
録するための方法」のこと。将来企業で経理や財務
の仕事に携わる人だけではなく、広く社会生活にも
役立つものです。商工会議所などが年に数回実施し
ている簿記の検定試験は、学生・社会人を問わず、数
ある資格の中でも最も人気・評価の高い試験で、合格
すれば就職活動にも有利になるものと思われています。

博物館学芸員

簿記

主な内定先 (8/31現在)

足利銀行 栃木銀行
明治安田生命 大和証券
野村証券 栃木県警
スズキ(軽自動車)
滝沢ハム JA宇都宮
イトーヨーカドー
ヨークベニマル

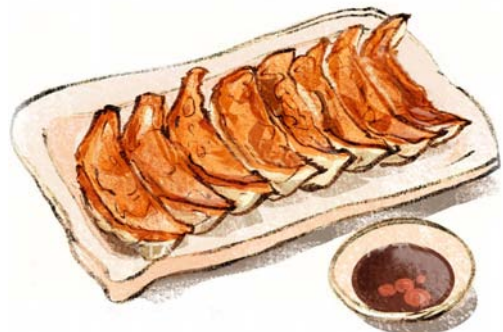


分野	割合
流通	40.9%
金融	19.7%
製造	15.5%
サービス	8.5%
建設・不動産	2.8%
情報通信	4.2%
運輸	4.2%
公務員	1.4%
医療・福祉	1.4%
その他	1.4%

**地域経済学科
就職内定状況**

2015年3月卒業生の進路決定率は、
なんと96%。

それを上回る勢いで、現在就職活動中の4年生からも
次々と内定取得の知らせが届いています！



餃子系にアツイ！のか、
餃子系がアツイ！のか？
まずはホームページを
見るべし！

ニラ男(仮称)
宇都宮餃子ミシュランを企画・運営する
TeamGのイメージキャラクター
「ニラ男」(仮称)。
ただいま正式なお名前募集中。
ちなみにアザラシと餃子のハーフです。

宇都宮餃子ミシュラン

宇都宮餃子系

なぜ宇都宮餃子系と
呼ばれるようになったか

町おこしに関するPRをできるようなものを宇都宮市の職員の方
が探していたそうです。
すると総務省統計局の家計調査年報で、餃子購入額で宇都宮が
常に上位であることがわかったそうです。
これに注目して、町おこしに関する提案をしたのがきっかけとか
(市の職員さん、よく探しましたね…)

宇都宮餃子系

宇都宮餃子系
の歴史

栃木県宇都宮市の餃子の始まりは、戦後に
さかのぼります。
戦争で満州に出兵した宇都宮出身の軍人が
帰国して、本場の餃子の製法を持ち込んだ
のが始まりとされています。
それが現在は店舗数が市内に200件！
(餃子専門店と餃子を扱う料理店の合計)

宇都宮餃子系

宇都宮餃子系
のイベント

※地域経済学科生調べ



まちづくり研究会 副会長
地域経済学科2年 熊谷 翔さん
(福島県立安達高校出身)

まちづくり研究会 会長
地域経済学科3年 国府田 天音さん
(栃木県立黒磯高校出身)

通称「まちけん」

帝京宇都宮まちづくり研究会って？

フィールドワークは、学科の授業ではありません。「帝京宇都宮まちづくり研究会」では
学生独自の発想や視点で、サークル活動として地域活性化に貢献するための活動を行っています。
どんなことをしているか、その活動内容をご紹介します！



現在は5つのチームが
各テーマを題材に
取り組んでいます。

絶賛活動中

交通問題

市内の公共交通機関の利便性を向上させるため
の一環として、宇都宮駅から帝京大学のバ
ス路線が、どうしたらもっと利用されるよう
になるかの研究を行っています。実際にバスに
乗車したり、学生へのアンケートを実施して
課題を明確化。改善案をまとめて、バス会社と
の協議会なども行う予定です。

シビックプライド

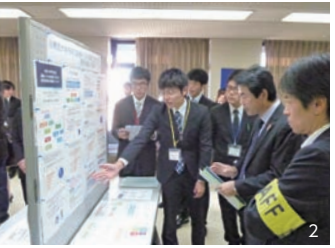
「シビックプライド」とは、郷土愛だけにとどま
らず、自分たちの手でまちを良くしていこう！
という、当事者意識を伴う概念のことです。若
者に焦点を当て、郷土愛を持っているか否か、
持っていないならどうしたら持てるのか、持っ
ているならどう活かせるのか、具体的に探って
いきたいと考えています。

ふるさと納税

現在日本で最も注目されている税制の1つで
ある「ふるさと納税」の問題や課題を見つけ、
よりよい制度にするための提案をまとめたい
と考えています。学生と社会人の両方を対象
にアンケート調査を行い、ふるさと納税に対す
る双方の意識の違いについても探っていく予
定です。

tEm de (テム・デ)

キャンパスライフをよりワクワクできてハッ
ピーなものにするため、学内でのイベントを企
画しています。「tEm」とは、「帝京」「まちづく
り」の頭文字から取ったもの。人とのつながり
を通して、まちづくりの基本である誰もが楽し
めて過ごしやすい場所づくりについて学んで
いきたいと考えています。



1:まちづくり研究会のメンバーたち。和気あいあいと楽しい雰囲気です。 2・3:宇都宮市主催の「大学生によるまちづくり提案」の発表会の様子。市内の各大学の学生団体が、それぞれの視点で
地域課題の解決のための提案を行います。まちけんも、毎年参加しています！ 4:学園祭の様子。昨年は、地元野菜をふんだんに使った「豚汁」を販売しました。



理工学部 ヒューマン情報システム学科(※) 4年
大塚 友章さん(栃木県立今市高校出身)
(株)TKC内定

A1:「IT技術者」という仕事に将来性を感じ、この学科を選びました。
A2:卒業研究で、聴覚障害者の方が使う「指文字」を認識し、指文字を知らない方にも意味を伝えることができるシステムの開発に取り組んでいます。
A3:音楽鑑賞が好きで、卒業研究の作業用にプレイリストを作って聞いています。日本語だと歌詞が頭に入りすぎてしまうので、洋楽の方が作業には向いているかな。
A4:会計システムを扱う会社に内定をいただいたので、その知識を身につけたいです。

※現 情報電子工学科



理工学部 航空宇宙工学科 3年
松谷 流加さん(新潟県立新潟江南高校出身)

A1:想像できない話にワクワクしちゃう性格で(笑)、高校の先生に「宇宙エレベーター」の話聞いた時に、「コレだ!」と思い、航空宇宙分野を学ぶことにしました。
A2:サークルで人工衛星を作っています。授業で学んだことを実践できて、楽しいです!
A3:宇都宮キャンパスで「女子会」を主催しています。女子が少ないキャンパスなので、女子トークができる貴重な機会なんです。
A4:航空宇宙分野のエンジニアになりたいけれど、仕事と家庭のどちらを優先すべきが悩んでしまいそうで、ちょっと不安です。



理工学部 バイオサイエンス学科 3年
佐々木 悠介さん(宇都宮短期大学附属高校(栃木県)出身)

A1:実家で農業を行っていて、植物が身近だったこともあり、もっと詳しく学んでみたい!と思っていました。
A2:葉がウィルスに感染する様子を観察する実験を行ったのですが、自分の目で見ることで、感覚的に理解することができました。
A3:弓道部の部長をしています。練習は週4回で、大会にも多く出ています。個性的な部員が多く、ワイワイ楽しくやっています!
A4:来年から就職活動が始まるのですが、農業試験場など、学んだことが活かせる仕事に就きたいです。



理工学部 機械・精密システム工学科 2年
芝崎 洸太さん(本庄東高校(埼玉県)出身)

A1:もともと機械いじりが好きで、車にも興味があったので、ATC(※)のあるこの学科を選びました。
A2:最近、エンジンを分解する実習がありました。構造の細かいところまで自分の目で見ることができ、興味深かったです。
A3:自作のフォーミュラカーでレースへの出場を目指すサークルに入っています。発足したばかりですが、自分たちで部品の設計・製作から、組立、溶接などを行う予定です。
A4:やりたい勉強ができてるし、大学生活は一度きりなので思う存分楽しみたいです。

※オートモビル・テクノロジー・コース



理工学部 ヒューマン情報システム学科(※1) 2年
畑澤 明絵さん(栃木県立石橋高校出身)

A1:もともとパソコンに興味があったんです。オープンキャンパスでこの学科の実験室を見学して、いろんな機械にワクワクしたことを覚えています。
A2:実習が楽しいです! 最近では、プログラミングや画像処理の実習がありました。
A3:TCC(※2)というサークルで、パソコンを使ってイラストを制作しています。趣味が合う人が多く、みんなで感想を言い合ったり、とても居心地の良い場所です。
A4:自分が楽しいなと思える仕事に就きたいです。やっぱりエンジニアかな。

※1 現 情報電子工学科 ※2 帝京コンピューターサークル



経済学部 地域経済学科 4年
館山 宏輝さん(栃木県立上三川高校出身)
中原証券(株)内定

A1:地元で貢献できる仕事がしたいと思っていました。経済学に興味もあり、座学だけではないカリキュラムにも惹かれました。
A2:自分たちでベンチャー企業を立ち上げるシミュレーションを行う授業を受けました。机上ではありますが、お金の問題や、世の中のニーズなど、考えるべきことが多く、とても勉強になりました。
A3:野球をよく見ます。一点を取るまでの駆け引きが面白いですね。
A4:もうすぐ卒業なので、友人たちと車でどこか遠いところに出かけたりしたいです。



理工学部 バイオサイエンス学科 2年
武田 瑞歩さん(茨城県立下館第二高校出身)

A1:高校の生物で遺伝子や植物ホルモンについて学んで、自分たちの生命に直接つながっていておもしろいな、と思って。もっと学んでみたいと思いここを選びました。
A2:食品科学の授業で、発酵により味噌や醤油ができていく過程を学びました。
A3:ドラッグストアでアルバイトをしているのですが、医薬品を販売するための「登録販売者」の資格取得を目指しています。実は、学科の授業とリンクする内容もあるんです。
A4:将来は、食品の企画や開発に携わる仕事に就けたらいいな、と思っています。



医療技術学部 柔道整復学科 3年
尾崎 誠さん(文星芸術大学附属高校(栃木県)出身)

A1:剣道で腰痛になってしまい、同じ接骨院の先生にずっと診てもらっていたんです。自分もケガに苦しむ中高生を支える柔道整復師になりたいと考えるようになりました。
A2:臨床医学を学んでいます。腰が痛いという患者さんが実はガンだった、という可能性もあるので、内科系の疾患を知ることが大切です。
A3:剣道部で部長をやりました。6月の大会で引退したので、ちょっと寂しいです(笑)。
A4:ケガをしている人は精神的にも弱っていることも多いので、リラックスさせてあげられるような柔道整復師になりたいです。



理工学部 航空宇宙工学科 4年
江口 晴信さん(浦和実業学園高校(埼玉県)出身)
(株)IHI内定

A1:小学生の時に飛行機の整備工場に見学に行き、ここで整備された飛行機が、いろんな人をいろんな場所に連れて行ってくれるなんてすごい!と思ったのがきっかけです。
A2:卒業研究で、飛行機によく使われている「FRP」という素材の修理技術について研究しています。まだ解明されていない技術なので、使命感に燃えています!
A3:バイクでツーリングにハマってます。風を切って走る感じがホントに気持ちいいです。
A4:社会に貢献できるような技術を持ったエンジニアになりたいです。



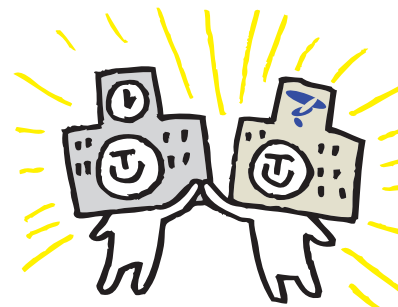
医療技術学部 柔道整復学科 3年
篠江 知美さん(栃木県立那須拓陽高校出身)

A1:小学生の時に柔道をやっていて、柔道整復師はとても身近で、憧れの職業だったんです。自分の体を自分でケアできたらいいな、という思いもありました。
A2:今は、筋肉のしくみを勉強しています。ここを動かすとここが動くんだ!とか、めっちゃくちゃおもしろいです(笑)。
A3:小学生からソフトボールを続けていて、今は地元の社会人チームに入ってます。
A4:将来は障害者スポーツに携わる仕事をしたいです。パラリンピックに向けて、車イスソフトボールのサポートがしたいです!

Q1:この大学・この学科を選んだ理由は?
Q2:今、どんなことを学んでいますか?
Q3:プライベートはどんな感じ?
Q4:これからの目標を教えてください。



栃木県立宇都宮清陵高等学校と 高大連携事業に関する協定が結ばれました



6/18(木)、帝京大学宇都宮キャンパスと栃木県立宇都宮清陵高等学校との高大連携事業に関する協定の調印式が執り行われました。この協定は、相互に連携し交流を深め、大学教育・高校教育の活性化を図ることを目的としています。今回の協定により、大学からの講師派遣や施設を利用した授業展開など、さまざまな連携の推進により、教育・研究活動の活性化だけでなく、地域連携や地域貢献を含めた幅広い活動が期待されます。



第11回バイオカフェが開催されました

7/2(木)、医療技術学部柔道整復学科と理工学部バイオサイエンス学科共催による第11回バイオカフェが開催されました。

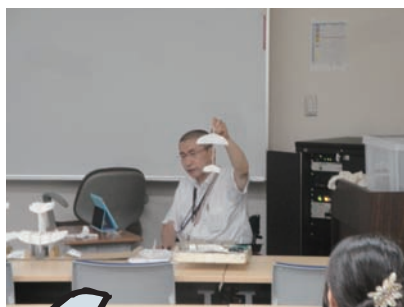
「夜寝て、朝起きる」。私たちが普段何気なく行っている行動は、実はまだまだ分からないことだらけです。「なぜ眠るのか」。この「睡眠と覚醒」の未知なる世界を、最新脳科学技術を使って研究されている山中章弘先生(名古屋大学環境医学研究所神経系分野(脳)教授)に講演していただきました。講演では、睡眠と覚醒をコントロールする仕組みについての研究成果や、最新の睡眠障害治療薬の紹介などもしていただきました。

【バイオカフェとは…】バイオサイエンス学科では、分野を超えた研究交流の場として、2014年度から「バイオカフェ」を開催しています。基礎的な内容から最新の研究トピックスがわかりやすく発表されるとともに、研究の裏話なども聞くことができます。本学科の学生や教職員に限らず、他学科からの参加も歓迎しています。



航空宇宙イブニングセミナーが開催されました

8/6(木)、帝京大学宇都宮キャンパスにて第2回航空宇宙イブニングセミナーが開催されました。今回は7/4(土)・11(土)に放送されたテレビ番組「超絶凄ワザ!」(NHK)の「ミラクル紙飛行機大決戦!」に出演した理工学部航空宇宙工学科の米田洋教授が、放送では語られなかった理論的な内容や苦労話などを話しました。多くの学生や大学院生、教職員が本セミナーに参加し、テレビでは語られなかった舞台裏の話に耳を傾けていました。



【航空宇宙イブニングセミナーとは…】航空宇宙に関する最新の研究についての話題を提供し、議論を深める場として、月1回のペースで木曜日に開催しています。本学科の学生や教職員に限らず、他学科からの参加も歓迎しています。

宇都宮キャンパスNEWS

11月は、キャンパスでのイベントが盛りだくさんです!



学生たちが主催する、宇都宮キャンパスの学園祭「帝祭-MIKADO SAI」が今年も開催されます。今年も模擬店や様々なステージ企画、学科開放、フリーマーケット等、多くのイベントを予定しています。また、学園祭と同時に「保護者向け就職説明会」も開催されます。

※写真は昨年の学園祭の様子



今回のテーマは「地方創生と栃木の挑戦」。基調講演として、栃木県副知事 馬場竹次郎氏をお迎えします。このシンポジウムを通して、地域に根差した大学の役割を果たすべく、新たな地域振興に資していこうと考えます。

写真は昨年のシンポジウムの様子



宇都宮キャンパス後援会の支援で成績優秀者に 図書カードが贈られました



5/27(水)、宇都宮キャンパスで成績優秀者の表彰式が行われました。成績優秀者は、宇都宮キャンパス成績優秀者表彰規定に基づき、各学年・学科で前年度1年間の成績上位の2名が対象となります。成績優秀者には、表彰状と宇都宮キャンパス後援会の支援で副賞の図書カードが贈られました。各学科の代表として波江野理工学部長から表彰状を受け取った経済学部地域経済学科4年の山崎利沙さんは、「3年連続の成績優秀者となり嬉しいです。副賞で就活に必要な本を購入したいと思います」と話し、受賞を喜んでいました。

